

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時対応において、職員に周知し避難訓練もおこなっているが、夜間や少人数の職員が避難誘導する際も、安全を確保しながら、円滑に対応できるようにシミュレーションする必要がある。	夜間や少人数の職員が避難誘導する事を想定し、安全を確保しながら円滑に対応できるように、地域の福祉委員や消防署員の協力を頂き、少人数の職員での避難誘導の訓練を行う等、実践的な避難訓練を計画し実施する。	夜間帯想定 of 避難訓練を実施した際に、消防署員から頂いた助言を基に、再度、夜間帯想定 of 避難訓練を実施する予定。また、運営推進会議を通し、地域の福祉委員に協力を求め、夜間や少人数の職員での避難誘導を、安全かつ円滑に行えるように実践していく。	6ヶ月
2	49	買い物、外食、散歩等希望の場所に入居者様が出掛けられる様、数回に分けて外出支援を行い記録にも残しているが、「ちょっと短時間、外へ出てお散歩」等記録に残していない外出もあるので、後からも状況確認ができる様、些細な外出も記録に残す必要がある。	全職員に些細な外出も記録に残すよう周知徹底を行う。	再度、全職員に些細な外出も記録に残すように伝え、各自、記入用紙(介護記録)の散歩欄の記入漏れがないかを確認するように周知を行った。	1ヶ月
3	6	玄関の施錠については、安全面と建物構造上の問題点、及び家族様の希望から施錠を行っている。外部評価での指摘をふまえ、今後の家族会や職員の全体会議で、再度話し合う必要がある。	施錠をしないケアへの理解を深める。	今回の指摘をふまえ、職員間やご家族様とも再度施錠をしないケアの意義について取り上げ話し合う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。